

人と接することで笑顔を引き出す エステサロンと未経験の介護でダブルワーク

異業種
転職

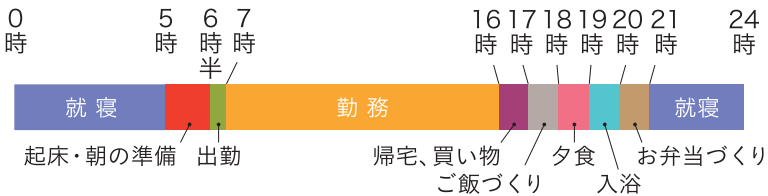
松葉綾乃さん / 35歳

特別養護老人ホーム アットホーム福岡 施設スタッフ

キャリア

22歳頃	ジュエリー等の接客業で働く
27歳頃	エステティシヤンの資格を取る
****	エステサロンで働く
現在	現在の事業所に就職 合わせて、自営業のサロンを継続中

ある日の1日



POINT

- 本気にしたいことを見つめ直しながら、未経験で介護の世界に飛び込む
- エステの経験・技術が人と触れ合う介護の現場に生きる
- 高齢者との交流が働く人のことも変えていく

！ 福祉の仕事を始める前は何をしていた？

— エステサロンで人を笑顔にする

エステティシヤンとして個人サロンを開いていて、今も曜日に限って続けています。その前もジュエリーなどの接客業をしてきて、振り返ると、何かをしてあげることでその人の笑顔につながる様子を見ることができる仕事を選んできた気がします。

2020年になって、コロナの影響を受けました。それで、何か他にも手掛けたほうが良いかな、と思って新しい仕事を探してみようと思いました。これがひとつきっかけとなって、自分が本当に何をしたいか、見つめ直すこともできたんです。今はいろいろ制約がありますが、やっぱり人と接する仕事、何か役に立てる仕事がしたいなって。それで介護に興味を持ち始めました。

— 思い切って飛び込んだ介護の世界

ある日、アットホーム福岡の前を通りかかった時に「職員募集」の文字が目に入り、思い切って話を聞いてみました。大変な仕事だと思っていたので、未経験の私にできるのかな、という不安もありましたが、パートで働くことになりました。忙しい時間帯だけでも何かお手伝いできれば、と。

最初は、身体を抱えることひとつとっても、怪我をさせてしまったら…と緊張して。ひとりでこんなに繊細なところまで対応しなくてはいけないのかと思うと、走って帰りたくなったこともあります(笑)。働き始めて2カ月ほどで、慌ただしい中でも先輩がしっかり対応してくださって、温かく指導してくれる先輩を尊敬しています。

！ 福祉の仕事をする前と後で、イメージは変わった？

— 身体に触れるという共通点

介護は、エステサロンでの仕事と共通することもたくさんあって、経験を活かせる場面もあります。

例えば、担当者からお願いされて、誕生日の入居者さんにフェイシャルエステをして、とても喜んでもらいました。



化粧もしたので、その写真を家族に送られていました。あと、お肌の薬を塗る前などに、足浴・マッサージをすることもあります。そうした時にもエステの技術が役立ちます。マッサージは免疫力向上にもつながると言われているので、もっと活かせるようになりたいです。

— 交流を通じた自分の変化

入居者さんにもいろんな方がいらっしゃって、教わることも多いです。例えば、「ありがとう」の気持ちを何度も心から表してくれて、自分も年を重ねた時に心から感謝を伝えられるようになりたいな、って思いました。あるときは、入居者さんが急に手を触れてくれて、「もう仲良しだね」って。入居者さんもしっかりとスタッフのことを見てくれていて、働きながら自分の人との接し方が柔らかくなっていく気がします。

！ 介護の仕事以外で、あなたについて教えてください！

— インドア派で、自分の身体のケアも

普段からインドア派で、家にいることが多いです。あまり人が多いところは好きではなくて。アロマが好きなので、バスソルトや石鹸を作っています。けっこう簡単に作れて、出来上がったら、それだけで満足。自分で使ったり、知り合いにプレゼントしています。

それと、自分の身体のケアもかなり意識しています。身体を温めて、お風呂で体を休めて、しっかりとご飯を食べて。介護の仕事をするようになって、自分の健康をもっと意識するようになりました。

介護の仕事をはじめましたが、これからも美容と健康の仕事は続けていきたいと思っています。ダブルワークで、それぞれがつながっていることも感じています。



松葉さんが自宅で作られたもの

取材を終えて

エステサロンと介護のダブルワークをされている松葉さん。異業種と言っても、人と触れ合うことの大切さは共通していて、これまでの経験を活かされている姿が印象的でした。